

会計専門コース2年:伊藤 碧

試験対策

短答式・論文式全体として、計算と理論の結びつきを意識しました。その計算手順を踏むのは必ず理由があります。基準が設定された背景や意味を常に考えながら、こういう理由があるからこの数値を持つてくる、この計算方法を用いる、というように意識して問題を解きました。また、常に全体を俯瞰して見る癖をつけていました。いきなり細かい論点に注目するのではなく、全体を見てから段々と細かい論点に下ろしていくことが重要だと思います。加えて、論文式特有ではありますが、会社法や租税法の理論対策として条文そのものの読み込みを意識しました。テキストベースだと楽に読み返しができますが、本試験ではテキストは持ち込めないため、普段から常に条文に触れておくことで理解も深まりますし、本試験で条文の難解な日本語にあたふたせずに済みました。監査論は事例問題に対応できるよう、予備校のテキストの事例対策のページを読み込みました。そのうえで、会計研での監査論のワークショップでアウトプットすることで、より実践的な知識が身に付きました。

会計研での受験生活

1年次は5月と12月の短答式があったため、受験に活かせる科目を主に履修しました。原価計算・管理会計・簿記科目等は計算力がつき、理論の理解力も高まりました。2年次は8月の論文式受験を意識して春・夏学期は履修科目を絞り、予備校のテキストの復習や答練に多くの時間を割きました。その中でも財務会計理論ワークショップは財務会計の理論問題の過去問を中心にディスカッションする科目でしたので、本試験に非常に役立ちました。秋・冬学期は試験とは直接関係のない実務や英語科目を多く受講しました。会計研究科では監査法人やコンサルティング会社による提携講座が多くあり、学生のうちから実務に近いところまで迫れる点が魅力的だと感じています。

後輩へのメッセージ

私は短答式試験を7回、論文式試験を1回受験し、トータルの勉強期間としては4年程かかりました。問題集を解いて間違えるたびに「どうして基本的な問題もできないのだろう」と、自分を責める苦しい期間が長かったです。また、受験回数を重ねていくと少ない受験回数で受かっていく人たちのことがよく目に入り、さらに自分を責めるようになっていきました。しかし、特別優秀なわけでもない平凡な私がここまで来ることができたのは「絶対に公認会計士になりたい」という気持ちと、最後まで諦めずに自分のことを信じたからだと思います。今、ゴールが見えず長いトンネルの中を彷徨っていると感じている方もいらっしゃるかもしれませんが、諦めずに地道に進んでいけば、いつか必ず合格できる日がきます。それまで自分のことを見放さず、歩みを進めていってください。そして、私のような受験生でも合格できたのだということがみなさんのモチベーションになれば幸いです。

会計専門コース1年
大久保 紘志朗**会計研での受験生活**

会計研入学前に短答式試験に合格し、入学後の4月からは8月の論文式試験に向け、学習を進めました。特に苦労したことは、会計研の講義・課題と予備校の学習の両立でしたが、会計研の2つの制度を利用して乗り越えることができました。1点目は、会計研は春夏秋冬のクォーター制度をとっているため、自分のキャパシティに合わせて履修を調整できることです。4月から5月末までの春クォーターに基礎的な科目や自分の理解を確認できる講義を多めに受講し、6月から7月末までの夏クォーターは講義を少なめに受講しました。春クォーターが終了した段階で夏クォーターの履修を登録でき、学習状況を鑑みてバランスを調整することができました。2点目は、自習室を積極的に利用したことです。空きコマにはすかさず自習室に行き、学習を進めました。個人ロッカーも備え付けられているため、学習を終えた後は教材を全て置いて帰宅することができ、自宅では学習しないようにすることで、オンオフを切り替えていました。また、自習室には集中して学習を進めている先輩や同期がいたため、モチベーションの維持に最適でした。

実践していた学習方法

1つ目に、間違えた問題を2度と間違えないように、間違えた内容をExcel等にまとめていました。こうすることで何度も間違えた苦手分野が明確になるだけでなく、試験直前に迅速に見返すことができました。また、Excel等の検索機能を活用して気になる論点をすぐに振り返ることで、知識定着と回転率の向上に役立ったと感じています。2つ目に、教材を言語化しアウトプットすることを意識的に実践していました。論文式試験の記述形式に対応するために、まずは言語化に慣れることが必要だと考えました。具体的には、会計研の講義内容を理解したつもりでも、背景や理由・その他具体例などの周辺知識をスラスラと記述することができるか、講義後に確認していました。また、会計研のアサインメントは記述問題も多く、理解の確認と思考力を鍛えるのに効果的だと思います。さらに、どんなに点数が悪くても予備校の答練を受け切ったことで、自然と記述練習につながりました。

後輩へのメッセージ

会計研には、最強の教授陣、切磋琢磨できる仲間、学習に専念できる環境、全てが揃っています。資格勉強だけではなく、ワークショップや提携講座などの幅広い講義カリキュラムを通じて、自分の興味のある分野に注力できる点も会計研の魅力です。皆さんの挑戦を後押ししてくれる素晴らしい学舎ですので、ぜひ飛び込んでみてください！